



りゅうせい いなずま  
**流星と稲妻**

おちあい ゆ か  
**落合由佳作**

こうだんしゃ  
**講談社**

六年生の春。「ドー」という頼りない声と同時に、ぱあん！と右胴が鳴り、善太は、宝に負けた。剣道は神速の世界。善太は、得意技の稲妻みたいな面を打ちたいのに、宝にそれを無視するように受け流され、流星のような面抜き胴で一本取られた。最大の屈辱だ。力任せな善太と受け身な宝、性格も剣道も正反対の二人。卒業したら別の中学に進む。最後の試合で勝つために、自分はどう戦うべきか。二人の剣士の激しい感情がぶつかり合い、技が光る。

